

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



令和6年

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第96号

第五十八回 手をつなぐ育成会

関東甲信越大会 新潟大会

「みんなとつながりこの地で安心して暮らすために」のテーマで、九月二十八日新潟テルサにて開催されました。本人参加イベントとして、新潟県立自然科学博物館見学や屋内レクリエーション等、会場以外でのイベントも行われておりました。

会場式典では、来賓ごあいさつの後、又村常務理事の中央情勢報告【法制度のうごき】では、児童発達支援センターの機能の明確化により児童センターが、地域の障害児通所支援施設における中核機能を発揮する。ただし、児発センター任せにするのではなく、一法人・一事業所の問題ではなく自立支援協議会の案件である。と断言している報告がありました。

又、グループホームの支援に「いわゆる卒業支援」が加わるという事は、障害者地域生活支援体制を根本から見直すという事と同義となる。

又、強度行動障害支援や障害者差別解消法の改正による民間事業者における合理的配慮の提供の義務化・成年後見制度の見直し議論として、二〇二六年の通常国会へ民法改正を含む成年後見制度の関係の法改正が上程され、施行準備期間を十分にとる必要があるため、一年以上は確保、最速二〇二七年四月に施行が等など力強い報告がありました。

その後「おめでとう」代表取締役奥平綾子氏が講演をされました。次男が自閉症と診断されたことをきっかけに起業し、自閉症・知的障害の人たちに必要な支援ツールの販売、相談支援・セミナーなどを続けています。強度行動障害のある方の親御さん二名の方の体験発表があり、今平穩に暮らしていることが信じられない、と当時を振り返り話しておりました。

最後に来年開催の東京都大会「全国大会」のご案内がありました。

加藤 シゲヨ

● 第8回おしゃべりサロン 報告 ●

総務

9月17日与野本町コミュニティセンターにて、第8回おしゃべりサロンを開催しました。参加者は会員8名・会員外3名・理事11名で3グループに分かれて交流しました。

- 就学前低学年グループでは、余暇の楽しみを見つけ方について水泳やトランポリンの情報や、訪問看護について、活発な情報交換がありました。
 - 学齢期グループでは、進路や思春期の対応、放課後デイサービスについて話し合いをしました。
 - 青年期グループでは、初めて市外の方や当事者のご参加があり、福祉全般についての地域による違いについての話、ご本人からの普段の生活の話、入所施設の体験談等で盛り上がりしました。
- ▶第9回おしゃべりサロンは来年3月頃に開催予定です。詳細は決まり次第お知らせいたします。

● 行政懇談会 [8月21日開催 要望と回答] 報告 ●

一部抜粋

○グループホームの家賃補助については、今回も同様の回答でした。今後も続けて要望していきます。

1. グループホームについて

*グループホームの数は増えていますが、障害福祉の経験が浅い営利法人運営が多いと感じます。重度知的障害者や強度行動障害者などの方も、住み慣れた地域で安心して入れるグループホームなどの整備をお願いします。

また数を増やすだけでなく、市独自の虐待防止策や支援内容のチェック体制整備、スキル向上のための研修実施等の人材育成の強化をお願いします。

【回答】 グループホームの整備を促進するとともに、市内グループホーム職員の人材育成については令和4年度より、職員の資質向上を目的とした「グループホーム職員研修」を実施しています。グループホームの利用者が安心して生活ができるよう、引き続き人材育成に関する取り組みを進めていきます。

2. 災害時の対応について

*「避難行動要支援者名簿」の登録推進だけでなく、登録時の情報に変更が生じている場合もありますので、定期的な登録内容確認も検討してください

【回答】 <定期的な内容確認について> 名簿はさいたま市地域防災計画に基づき年1回更新を行うこととしています。更新にあたっては、まず福祉局内各課から最新データの提供を受け、福祉総務課で集約し更新済みの名簿を作成します。令和5年度は11月に更新しました。

<特記事項>・外出の支援について

*知的障害の人は、安全に外出できる人は少ない現状があります。「福祉タクシー利用料金の助成」と「自動車燃料費の助成」に、療育手帳B・Cの人も対象にしてください。また「自動車燃料費の助成の価格が上昇していますので、1万円の助成額の見直しをお願いします。

【回答】 外出に困難を抱える知的障害のある方にとって、タクシー運賃や自家用車燃料費の支援は大変重要だと認識しています。一方で燃料費助成事業は対象者および助成金額が年々増加傾向にあり、利用料金助成事業においても制度改正の影響により、金額が増加していることから今後も事業を継続していくために、更なる予算の確保が必要となる現状にあります。したがって、要望の両事業の対象者に療育手帳B・C所持者を加える事と燃料費助成額の引き上げについては、現時点では予定していませんが、社会情勢を注視しつつ、他の政令指定都市の実情、状況を参考にしながら調査研究していきます。

グループホームに入居して

浦和区 高橋

二十三歳の娘がグループホームに入居して七ヶ月が過ぎました。

本人が四十歳頃までには入居させたいと漠然と考えていましたが、昨年七月に支部で見学した施設の条件が娘に良く（帰宅や通勤に便利、清潔で広い、異性介助無し、支援が手厚い、職員さんの印象、母体が福祉団体）、空室もあったので、本人と一緒に再度見学してみました。「楽しそう！自立してみたい！」との事で、五日間の体験入居になりました。

体験入居では「みんな優しくて下の名前で呼んでくれた。一人の時間は自由に過ごせた」と、心配していた人間関係や起床、食事（偏食）お皿洗い、洗濯も何とかでき、自信もついたようでした。その後の相談の結果、二月から本入居する事になりました。

今回、娘に自立心がある事、会社のサポーターさんとは違う、甘えられるような関係の支援者を求めている事、特性上、苦手な事でも工夫すれば、できる事もあるという発見がありました。

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★居宅介護（ホームヘルプ）
入浴・排泄・食事の介護など

★同行援護
視覚障がい者の支援

★ヘルパー募集中

★行動援護
行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★移動支援（ガイドヘルプ）
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



一般社団法人 飛躍
ヘルパーステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
☎ 048-649-5703



さいたま市社会参加事業

「家族教室」を開催

黒澤 篤子

今回は、「強度行動障害ってなあに」と題して七月十二日に開催しました。

会場のレイボックホールは大宮駅から近い事もあり参加者が思ったより多く関心の高さを感しました。

初めに「のぞみの園」理事長田中氏より、支援者の立場から実践を踏まえた提言や対応方法を大量の資料を基に解説と説明を頂きました。

強度行動障害でも生活を見直して対応方法を変える事で、家族の近くでの生活を得られる事例をお聞きしました。

この話から支援者や家族の対応で変わる事を知りました。

今後の活動として、支援方法の相談窓口がある事を周知して強度行動障害が有っても、家族との生活を続けていける支援を伝えて行きたいとの意思を感じました。

後半は、全国手をつなぐ育

成連合会副会長小島氏に家族の立場から家族への思いや日頃の困りごとの対応方法や、日頃の出来事の紹介を笑いを交えてお伝え頂きました。

生活の話題は、障害のある人を家族に持つ人には身に覚えのある事ばかりでした。

今回の「家族教室」は講師お一人で二時間お願い出来る程内容が充実していました。

オンラインで多くの方に参加頂き、参加者の中には事業所や学校からの参加もありました。

ご本人の支援に協力する立場の学校や事業所の方々、そして保護者の皆様と情報が共有出来た事が、有意義で充実した講演会になったと感じました。

今後も障害のある家族の生活を豊かにする課題を取り上げて提供して行きたいと思えました。



本人と家族の余暇活動

八月四日(日)に第六回どーなっ『どーなっ夏まつり』を開催しました。オリジナルのうちわを作って、紙風船を落とさないようにうちわでポンポンしたり、おかしつり、ミニゲーム、盆おどりなどを行いました。感想の発表では、「紙風船が楽しかった」との声が多かったです。



うちわ作り



紙風船



Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、そして、シャスタという大地の力。人間だけでは決してつukれないものがある。



Power of Nature

ここ、シャスタの山から。

障害者週間記念事業 「市民のつどい」

- 開催日時 令和6年12月7日(土) 10時～15時
- 開催場所 プラザノース 大ホール・市民広場・ギャラリー・多目的ルーム
- 交通手段
 - ①ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩約8分
 - ②JR宇都宮線 東北本線「土呂駅」西口徒歩約15分
 - ③大宮駅東口 東武バス上尾駅東口行「北区役所前」下車

■基調講演 稲川 淳二 氏 (ご自身の家族の話)

■開始時間 14時

※講演会参加希望者には、当日朝に整理券を配布します。先着順です。事前申し込みなし。



★編集後記★

酷暑の長い夏でした。日本の周りの海水温が高い事などで、迷走台風での九州の被害、能登地方の大被害は、一月の大地震から前向きに立ち直り始めた人々を打ちのめしました。被害に遭われた皆さまに、お見舞い申し上げます。亜熱帯気候になったという声も多く聞かれます。お米、農作物なども心配です。それぞれできる事に取り組んでいくしかないですね。

発行

一般社団法人

さいたま市手をつなぐ育成会

代表理事 加藤 シゲヨ

〒330-0801

さいたま市大宮区土手町

〒330-0801

大宮ふれあい福祉センター内

TFL/FAX

〇四八-六五四-七七六三

E-mail

sc-yout@bz03.plala.or.jp

ホームページ

http://www.saitamashi-ikuseikai.org/

フェイスブック

@saitamashitewotsumagukuseikai

インスタグラム

@ikuseikai2022

編集 広報委員会

定価 五十円 (会費に含む)

未来あんしんサポート

NEW 2023年7月、新しいプランが新登場 “月払”または“一括払”の2タイプからお選びいただけるしくみへ

【知的障がい】や【自閉症】【発達障がい】【ダウン症】等の障がいのあるお子さまのために“**親なきあと**”をサポートのご提案です

未来あんしんサポート

障がいのあるこの子が
お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に
困らないようにしてあげたい。

自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる
お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を
確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーが
ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた
サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
▶▶▶0120-580-503 通話料
無料
受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●(株)ジェイアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。●株ジェイアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2023年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

【生命保険募集代理店・信託契約代理店】



株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

【所属信託会社】

みずほ信託銀行株式会社

【生命保険引受保険会社】

第一フロンティア生命保険株式会社

または
マニライフ生命保険株式会社

MLJ(営教)23050318

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です



特長1

代理手続き
代理告知が
可能

障がいのある方向けプラン

特長2

告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3

成年後見
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険の愛称です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2021年3月作成
20-TC10720